

2023年3月期第2四半期 決算説明資料

2022年11月9日

株式会社コスモスイニシア

証券コード：8844（東証スタンダード）

Cosmos Initia

■ 2023年3月期第2四半期 業績概要

- 売上高450億円、営業損失10億円
- 不動産販売の引渡時期の下半期集中により、下半期に営業利益が偏重となる見通しのところ、概ね計画どおりの契約進捗・業績推移
- 前年同期と比較し、売上高はレジデンシャル事業を除く全セグメントで増収となった一方、営業利益はソリューション事業で前年同期に高収益物件の引渡があったことの反動等により減益

■ 2023年3月期 通期業績予想

- 期初公表の業績予想から変更なく、売上高1,250億円、営業利益35億円（前期比増収・営業増益）
- 期初公表の報告セグメント別業績予想に対して、海外事業（豪州での分譲住宅開発事業）での工事遅延等によりレジデンシャル事業が減収・営業減益となる一方、収益不動産の引渡数増加によりソリューション事業が増収・営業増益となる見通し

中期経営計画2026	P. 3
2023年3月期第2四半期 業績概要	P. 6
2023年3月期 通期業績予想	P. 11
セグメント情報	P. 14
トピックス	P. 27



中期経営計画2026

- 前中期経営計画で未達となった業績の回復と向上にむけて、事業・財務基盤を強化
- 新たな事業創造とESG経営の実践を通して、企業価値のさらなる向上をめざす

【Mission（存在意義）】

Next GOOD

お客さまへ。社会へ。一步先の発想で、一步先の価値を。

【中期経営計画2026 重点テーマ】

事業・財務基盤の強化

新たな事業創造

ESG経営の実践

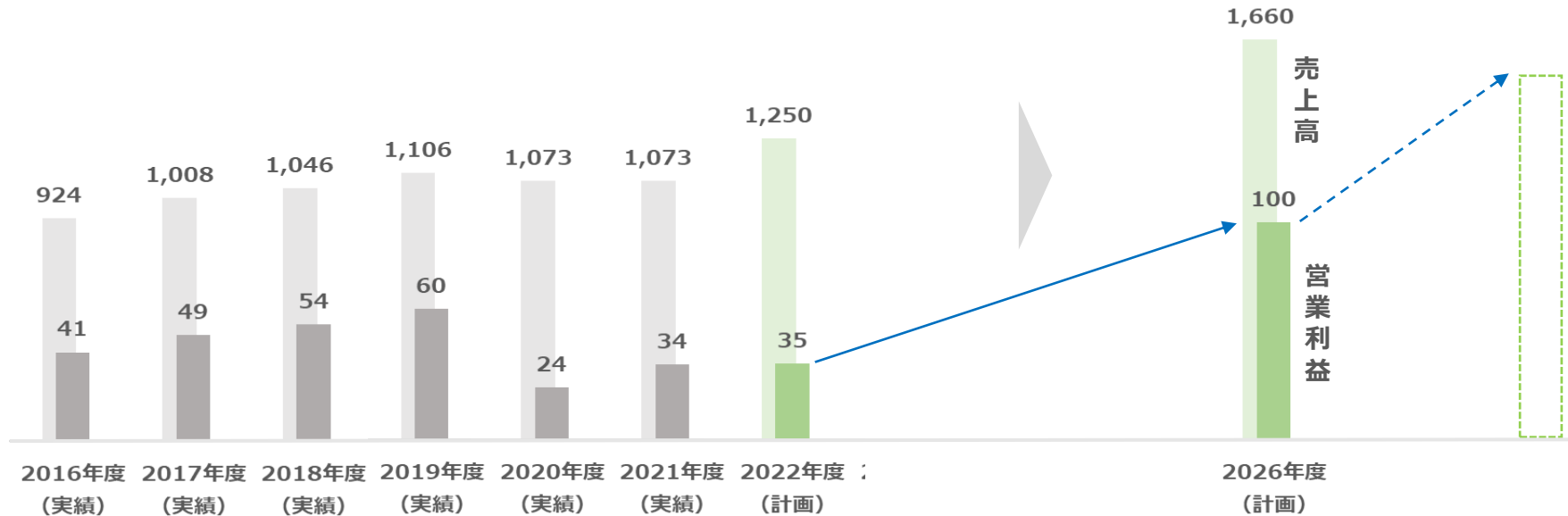
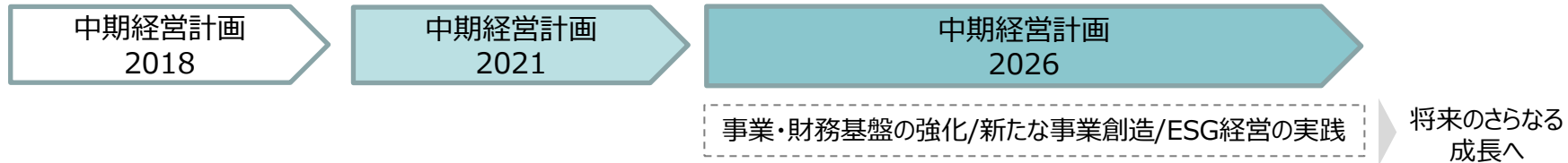
<外部環境認識>

- 国際的な政治情勢や金融動向など、先行き不透明な事業環境
- 国内の人口・世帯数減少および少子高齢化加速
- 新型コロナウイルスにより、都市生活ニーズの多様化・変化が加速
- 訪日外国人の中長期的な増加
- ESG・サステナビリティへのさらなる関心の高まり

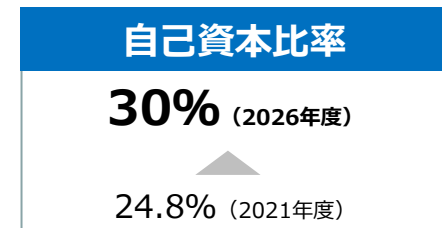
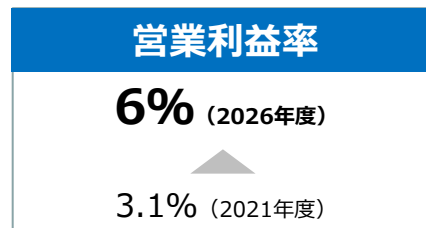
<当社の強み>

- 分譲マンション10万戸超の供給実績
- 多様な不動産アセットの加工力や空間デザインのノウハウ
- 不動産運営コンテンツ・サービスなどの開発ノウハウ
- 価値創造と生産性向上に向けた当社らしい働き方改革「WSI(※)」
※WSI：Work Style Innovation

- 中長期の成長実現を目的に計画期間を5か年とし、営業利益100億円・営業利益率6%・自己資本比率30%を最終年度の経営目標とする
- 「事業・財務基盤の強化」「新たな事業創造」「ESG経営の実践」により、将来のさらなる成長をめざす



(単位：億円)





2023年3月期第2四半期 業績概要

- 売上高450億円、営業損失10億円
- 前年同期と比較し、売上高はレジデンシャル事業を除く全事業で増収となった一方、営業利益はソリューション事業で前年同期に高収益物件の引渡があったことの影響等により減益
- 豪州子会社の清算等に伴い、繰延税金資産の追加計上により法人税等調整額(益)(約9億円)を計上
- 中間配当金は無配（期初公表の配当予想から変更なし）

(単位：百万円)	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q	増減
売上高	42,843	44,973	2,130
売上総利益	7,408	6,004	△1,403
販売費及び一般管理費	6,794	7,001	207
営業利益	613	△996	△1,610
経常利益	318	△1,043	△1,361
親会社株主に帰属する 四半期純利益	127	△82	△209
1株当たり四半期純利益	3.75円	△2.46円	△6.21円
1株当たり中間配当金	－円	－円	－円

- レジデンシャル事業は、新築マンションの引渡数減少、及びリノベーションマンションの引渡遅延等により、減収・営業減益
- ソリューション事業は、引渡数増加の一方、前年同期に高収益物件があったことの反動等により増収・営業減益
- 宿泊事業は、稼働が改善した一方、新規開業費用の増加等により増収・営業減益
- 工事事業は、前年同期に生じた緊急事態宣言下における受注遅れの反動等により増収・営業増益

(単位：百万円)	2022/3期 2Q		2023/3期 2Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
レジデンシャル事業	16,788	502	14,669	△158	△2,119	△661
ソリューション事業	21,705	2,815	23,783	1,842	2,077	△972
宿泊事業	388	△1,565	1,055	△1,800	667	△235
工事事業	4,352	△125	5,618	61	1,266	187
調整額 (※)	△391	△1,012	△153	△941	237	71
合計	42,843	613	44,973	△996	2,130	△1,610

(※調整額にはセグメント間取引消去のほか、各セグメントに配賦していない全社費用等を含む)

■ 販売用不動産の仕入が順調に進捗したことにより、棚卸資産および借入金が増加

(単位：百万円)	2022/3期	2023/3期 2Q	増減
総資産	145,210	158,350	13,139
（棚卸資産（※））	97,998	115,480	17,482
負債	108,603	121,540	12,936
（借入金）	81,533	95,463	13,929
純資産	36,607	36,810	202
自己資本比率	24.8%	22.8%	△2.0pt
ネット有利子負債（百万円）	51,390	72,054	20,663
ネットD/Eレシオ	1.4倍	2.0倍	0.6pt

（※その他流動資産（前渡金）を含む）

<棚卸資産の売上高想定内訳>

	戸数	売上高相当額 (百万円)	戸数	売上高相当額 (百万円)
新築マンション・一戸建	1,991戸	94,400	2,271戸	110,600
リノベーションマンション	341戸	15,900	409戸	18,900
収益不動産等	—	47,300	—	65,900
ホテル	—	24,100	—	24,100
合計	—	181,700	—	219,500

- 営業キャッシュ・フロー 棚卸資産の増加等による資金減少
- 財務キャッシュ・フロー 借入金増加等による資金増加
- 現金及び現金同等物の四半期末残高は前年同期比43.7億円増加

(単位：百万円)	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	△16,311	△21,032
税金等調整前当期純利益	309	△1,043
棚卸資産の増減額（△は増加）（※）	△9,683	△16,880
仕入債務の増減額（△は減少）	△3,676	△1,944
投資活動によるキャッシュ・フロー	△196	△336
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,248	14,599
借入金の増減額（△は減少）	7,879	13,613
不動産特定共同事業出資受入金の増減額（△は減少）	△420	1,196
配当金の支払額	△237	△237
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	35
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△9,244	△6,735
現金及び現金同等物の期首残高	31,186	33,049
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,941	26,314

（※その他流動資産（前渡金）の増減を含む）

2023年3月期 通期業績予想

COSMOS REID
Oimachi

2023年3月期 通期業績予想 ～連結損益計算書～

Cosmos Initia

- 売上高1,250億円、営業利益35億円 前期比増収・営業増益の見通し
- 期初公表の業績予想から、売上高・営業利益ともに変更なし
- 豪州子会社の清算に伴い、為替換算調整勘定の取崩による損失（特別損失・約12億円）を計上見込である一方、繰延税金資産の追加計上に伴う法人税等調整額(益)の計上が見込まれることから、通期の当期純利益は期初予想から変更なし(※1)
- 期末配当金は1株当たり9円の見通し（期初公表の配当予想から変更なし）

(単位：百万円)	2022/3期	2023/3期 通期予想	増減	2023/3期 期初予想(※2)
売上高	107,349	125,000	17,650	125,000
売上総利益	17,425	19,300	1,874	19,600
販売費及び一般管理費	14,073	15,800	1,726	16,100
営業利益	3,351	3,500	148	3,500
経常利益	2,610	3,000	389	3,200
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,703	2,200	496	2,200
1株当たり当期純利益	50.29円	64.93円	14.64円	64.93円
1株当たり年間配当金	7円	9円	2円	9円

(※1 詳細は、同日公表の「2023年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください)

(※2 2022年5月公表 業績予想)

2023年3月期 通期業績予想 ～報告セグメント～

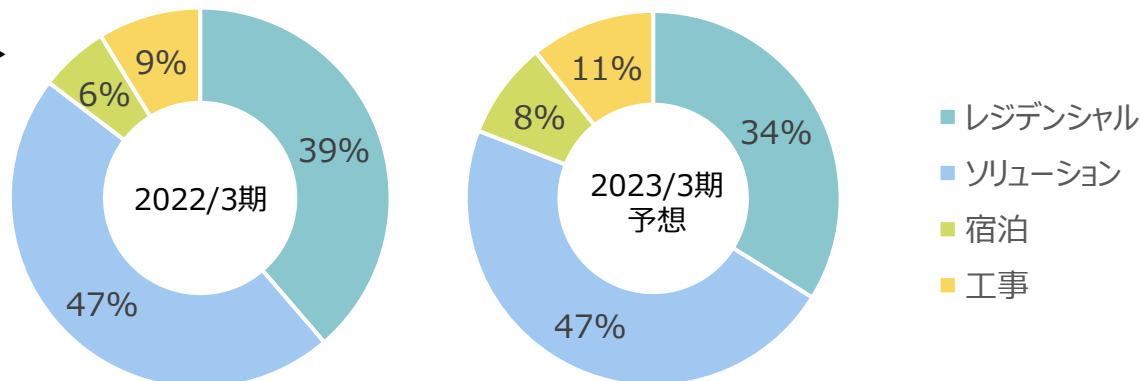
- 前期と比較し、全セグメントにおいて増収となる一方、ソリューション事業・宿泊事業は営業減益の見通し
- 期初公表の業績予想に対し、レジデンシャル事業は減収・営業減益、ソリューション事業は増収・営業増益の見通し

(単位：百万円)	2022/3期		2023/3期 予想		増減		2023/3期 期初予想(※2)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
レジデンシャル事業	41,844	1,822	42,500	1,900	655	77	49,000	2,800
ソリューション事業	50,477	5,580	59,000	5,300	8,522	△280	51,800	4,400
宿泊事業	6,356	△2,061	10,500	△2,100	4,143	△38	11,200	△2,000
工事事業	9,459	73	13,500	500	4,040	426	13,500	500
調整額 (※1)	△787	△2,063	△500	△2,100	287	△36	△500	△2,200
合計	107,349	3,351	125,000	3,500	17,650	148	125,000	3,500

(※1 調整額にはセグメント間取引消去のほか、各セグメントに配賦していない全社費用等を含む)

(※2 2022年5月公表 業績予想)

<売上高構成比 (調整額除く) >



セグメント情報

レジデンシャル事業

これからの社会に求められる価値を創造し、心ときめく日々・暮らしを実現する住まいを提供します。

新築マンション・一戸建販売



リノベーションマンション販売



その他（不動産仲介・海外事業等）



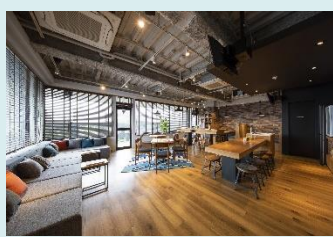
ソリューション事業

収益不動産の販売・賃貸管理、土地の有効活用、設計・建築コンサルティングなどのソリューションを提供します。

収益不動産等販売



不動産賃貸管理・運営



その他（不動産仲介等）



宿泊事業

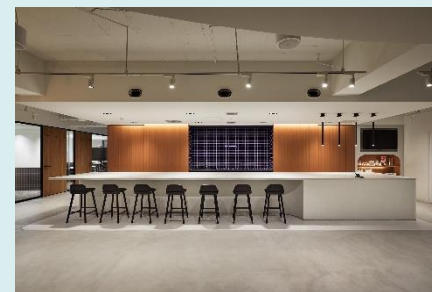
全室キッチン・ダイニング付きで、中長期滞在ニーズに対応する都市型アパートメントホテル「MIMARU」の開発・運営をはじめ、アウトドアリゾート「ETOWA」の企画・運営を行っています。

ホテル施設販売、ホテル施設運営



工事業業

デザイン設計・施工を通じて、関わる人の「心を動かす」住環境・オフィス環境を提供します。



- 2023/3期 2Q 前年同期と比較し、新築マンションの引渡数減少、及びリノベーションマンションの引渡遅延等により、減収・営業減益
- 2023/3期 通期予想 期初予想に対し、海外事業（豪州での分譲住宅開発事業）において、悪天候による工事遅延に伴い一部引渡時期を変更したこと等により、減収・営業減益の見通し

➤ 2023/3期 2Q

(単位：百万円)	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q	増減
売上高	16,788	14,669	△2,119
新築マンション・一戸建販売 (※1)	9,427	8,235	△1,192
リノベーションマンション販売 (※2)	7,018	6,099	△918
その他(不動産仲介・海外事業等) (※3)	342	334	△8
営業利益	502	△158	△661

➤ 2023/3期 通期予想

(単位：百万円)	2022/3期 通期	2023/3期 通期予想	増減	2023/3期 期初予想 (※4)
売上高	41,844	42,500	655	49,000
新築マンション・一戸建販売 (※1)	25,356	22,800	△2,556	22,200
リノベーションマンション販売 (※2)	15,779	17,200	1,420	16,900
その他(不動産仲介・海外事業等) (※3)	707	2,500	1,792	9,900
営業利益	1,822	1,900	77	2,800

(※1 新築マンション・一戸建販売には、新築マンション、新築一戸建の他、新築タウンハウス、宅地分譲を含む)

(※2 リノベーションマンション販売には、物件保有期間中の賃貸収入を含む) (※3 その他(不動産仲介・海外事業等)には豪州での分譲住宅開発事業を含む)

(※4 2022年5月公表 業績予想)

- 2023/3期 2Q 前年同期比で新築マンション・リノベーションマンションともに売上総利益率が改善
- 2023/3期 通期予想 前期比でリノベーションマンションの引渡数は減少するが、販売単価の上昇により増収、また新築マンション・リノベーションマンションともに売上総利益率は改善の見通し

<引渡数・売上高・売上総利益率>

➤ 2023/3期 2Q

	2022/3期 2Q			2023/3期 2Q		
	引渡数	売上高 (百万円)	売上総利益率 (※2)	引渡数	売上高 (百万円)	売上総利益率 (※2)
新築マンション(※1)	180戸	8,696	18.0%	151戸	6,913	18.2%
リノベーションマンション	156戸	6,702	14.7%	115戸	5,894	15.0%

➤ 2023/3期 通期予想

	2022/3期 通期			2023/3期 通期予想		
	引渡数	売上高 (百万円)	売上総利益率 (※2)	引渡数	売上高 (百万円)	売上総利益率 (※2)
新築マンション(※1)	453戸	23,088	18.9%	440戸	20,900	22.1%
リノベーションマンション	355戸	15,195	13.1%	316戸	16,800	15.3%

(※1 新築マンションには新築マンションの他、新築タウンハウスを含む)

(※2 棚卸資産評価損を含まない)

- 前年同期比で新築マンションの契約が順調に進捗した一方、資材納入の遅れ等によりリノベーションマンションの契約進捗率が低下

＜契約進捗率＞ 通期業績予想に対する2Q末時点の販売進捗

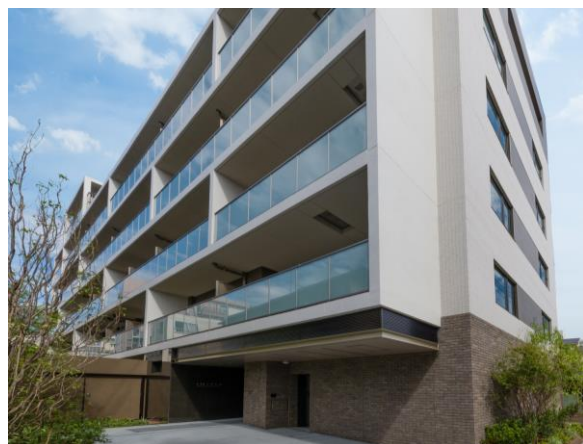
＜完成在庫＞

	2022/3期 2Q末		2023/3期 2Q末	
	契約済	進捗率	契約済	進捗率
新築マンション(※)	343戸	64.6%	328戸	74.5%
リノベーションマンション	173戸	57.9%	127戸	40.2%

	2022/3期 2Q末	2022/3期末	2023/3期 2Q末
	新築マンション(※)	144戸	345戸
(うち未契約)	(129戸)	(332戸)	(295戸)

(※新築マンションには新築マンションの他、新築タウンハウスを含む)

＜2023/3期2Q レジデンシャル事業における主な引渡物件＞



新築マンション『イニシア練馬北町レジデンス』



新築一戸建『イニシアフォーラム尾山台』



リノベーションマンション『三田清風ガーデン』

- 2023/3期 2Q 前年同期と比較し、収益不動産等販売(うち一棟物件)の引渡数増加の一方、前年同期に高収益物件の引渡があったことの反動等により増収・営業減益
- 2023/3期 通期予想 期初予想に対し、収益不動産等販売(うち一棟物件)の引渡数増加等により、増収・営業増益の見通し

➤ 2023/3期 2Q

(単位：百万円)	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q	増減
売上高	21,705	23,783	2,077
収益不動産等販売(※1)	13,487	15,798	2,310
不動産賃貸管理・運営	7,942	7,837	△104
その他(不動産仲介等)	275	147	△127
営業利益	2,815	1,842	△972

➤ 2023/3期 通期予想

(単位：百万円)	2022/3期 通期	2023/3期 通期予想	増減	2023/3期 期初予想(※2)
売上高	50,477	59,000	8,522	51,800
収益不動産等販売(※1)	34,204	42,800	8,595	35,500
不動産賃貸管理・運営	15,818	15,800	△18	15,900
その他(不動産仲介等)	454	400	△54	400
営業利益	5,580	5,300	△280	4,400

(※1 収益不動産等販売には、一棟物件、共同出資型不動産、賃料収入、土地売却等を含む)

(※2 2022年5月公表 業績予想)

- 2023/3期 2Q 前年同期比で収益不動産等販売(うち一棟物件)の引渡数は増加の一方、前年同期に高収益物件があったことの反動により、売上総利益率は低下
- 2023/3期 通期予想 前期比で収益不動産等販売(うち一棟物件)の引渡数は増加の一方、上記要因等により売上総利益率は低下の見通し

<収益不動産等販売(うち一棟物件) 引渡数・売上高・売上総利益率>

➤ 2023/3期 2Q

	2022/3期 2Q			2023/3期 2Q		
	引渡数	売上高 (百万円)	売上総利益率 (※)	引渡数	売上高 (百万円)	売上総利益率 (※)
収益不動産等販売 (うち一棟物件)	5棟	7,926	19.3%	11棟	13,445	14.3%

➤ 2023/3期 通期予想

	2022/3期 通期			2023/3期 通期予想		
	引渡数	売上高 (百万円)	売上総利益率 (※)	引渡数	売上高 (百万円)	売上総利益率 (※)
収益不動産等販売 (うち一棟物件)	13棟	24,896	16.8%	26棟	38,500	15.4%

(※ 棚卸資産評価損を含まない)

- 住宅サブリースの空室率は、リーシングが順調に推移したこと等により安定した水準を維持

＜不動産賃貸管理・運営(うち住宅サブリース)受託戸数・空室率＞

	2022/3期末		2023/3期 2Q末	
	受託戸数	空室率	受託戸数	空室率
住宅サブリース	9,951戸	3.0%	9,793戸	2.4%

＜2023/3期2Q ソリューション事業における主な引渡物件＞



収益不動産『コスモロード南麻布レジデンス』



収益不動産『コスモロード白金』



収益不動産『コスモロード押上』

- 2023/3期 2Q 前年同期と比較し、稼働の改善、及び営業室数の増加等により増収となった一方、新規開業費用等により営業減益
- 2023/3期 通期予想 期初予想に対し、上半期は稼働回復が遅れたことの影響等により、減収・営業減益の見通し

➤ 2023/3期 2Q

(単位：百万円)	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q	増減
売上高	388	1,055	667
ホテル施設販売	-	-	-
ホテル施設運営	388	1,055	667
営業利益	△1,565	△1,800	△235

➤ 2023/3期 通期予想

(単位：百万円)	2022/3期 通期	2023/3期 通期予想	増減	2023/3期 期初予想 (※)
売上高	6,356	10,500	4,143	11,200
ホテル施設販売	5,300	6,000	700	6,000
ホテル施設運営	1,056	4,500	3,443	5,200
営業利益	△2,061	△2,100	△38	△2,000

(※2022年5月公表 業績予想)

- 2023/3期 2Q アパートメントホテル4施設を新規開業、平均稼働率は前期比で改善
- 2023/3期 通期予想 感染症影響の収束が進み、期末には感染症影響以前の稼働水準に近づくとこの前提のもと平均稼働率の予想を算定、また下半期に4施設の開業を予定

<アパートメントホテル施設数>

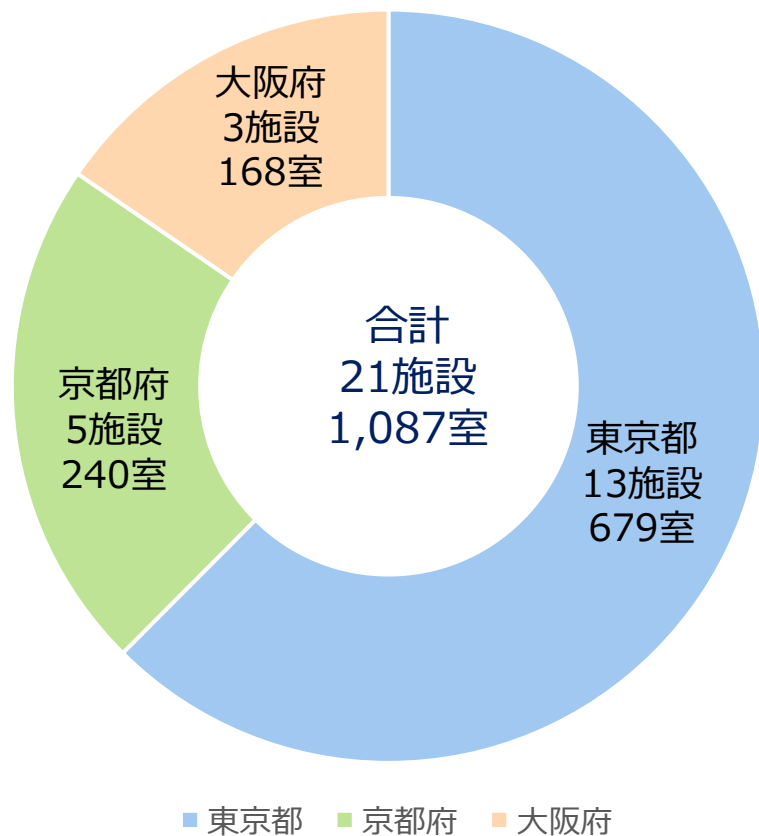
	2022/3期末		2023/3期 2Q末		2023/3期末 予想	
開業前	9施設	545室	5施設	251室	1施設	19室
開業済	19施設	925室	23施設	1,219室	27施設	1,451室
(うち休業中)	(2施設)	(132室)	(2施設)	(132室)	(2施設)	(132室)
合計	28施設	1,470室	28施設	1,470室	28施設	1,470室

<アパートメントホテル運営状況>

	2022/3期	2023/3期 2Q	2023/3期 予想
平均稼働率	15.4%	29.6%	41.2%
平均客室単価	19千円	18千円	23千円
平均滞在日数	3.2日	3.0日	2.9日

(休業中施設を除く販売可能客室数にて算出)

<2023/3期 2Q末 営業中(※)アパートメントホテル (エリア別) >



(※開業済施設のうち、休業中を除く)



『MIMARU SUITES 東京日本橋』



『MIMARU大阪 難波STATION』

- 2023/3期 2Q 前年同期と比較し、前年同期の緊急事態宣言下における受注遅れの反動等により、増収・営業増益
- 2023/3期 通期予想 期初予想より変更なし

➤ 2023/3期 2Q

(単位：百万円)	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q	増減
売上高	4,352	5,618	1,266
営業利益	△125	61	187

➤ 2023/3期 通期予想

(単位：百万円)	2022/3期 通期	2023/3期 通期予想	増減	2023/3期 期初予想 (※)
売上高	9,459	13,500	4,040	13,500
営業利益	73	500	426	500

(※2022年5月公表 業績予想)



設計・施工事例
(大和ライフネクスト株式会社 本社)



設計・施工事例
(京浜リサイクルセンター株式会社 川崎新事務所棟)



設計・施工事例
(三井不動産レジデンシャル株式会社
京都レジデンシャルサロン)

- 宿泊事業を除くセグメントでの感染症影響は限定的であり、住宅やオフィスに対する需要は引き続き堅調に推移
- 宿泊事業では、入国制限の緩和や国内の旅行需要喚起策の推進等により、観光市場の本格的な回復が期待される
- 金利の上昇や資材価格の動向には注視が必要

セグメント	事業環境認識
レジデンシャル事業	<ul style="list-style-type: none"> • 低金利やコロナ禍での住まいへの関心の高まり等により、住宅購入に対する需要は堅調に推移 • 金利の上昇や資材価格の動向と、それによる住宅購入に対する意欲の減退には注視が必要
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> • 稼働状況等に著しい悪化は生じず、収益不動産に対する需要は堅調に推移 • オフィス空室率や金利の上昇、資材価格の動向には注視が必要
宿泊事業	<ul style="list-style-type: none"> • 入国制限の緩和や国内の旅行需要喚起策の推進等により、観光市場の本格的な回復が期待される • 期末には感染症影響以前の稼働水準に近づくとの前提で業績予想を算定しており、感染症の再拡大や航空旅客輸送の回復状況には注視が必要
工事事業	<ul style="list-style-type: none"> • 2022/3期に生じた緊急事態宣言下における受注機会の減少は一時的なものであり、受注環境は回復傾向 • 資材価格の動向には注視が必要

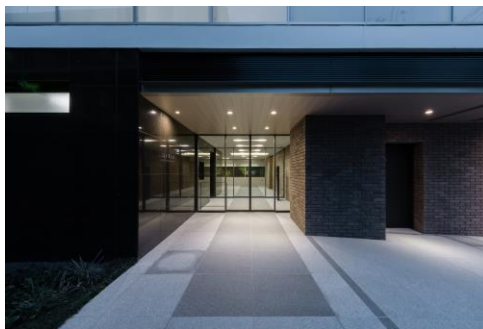


トピックス

■ 新築マンション『イニシア練馬北町レジデンス』竣工・引渡開始

- 最寄り駅まで徒歩4分、周辺に大型商業施設もある利便性の高い立地
- ルーフバルコニー付き・庭付き・土間プランなど、1LDK～3LDKの多彩な間取りで多様なニーズに対応

INITIA



『イニシア練馬北町レジデンス』エントランス／モデルルーム

■ アクティブシニア向け分譲マンション札幌第2号物件『イニシアグラン札幌苗穂』竣工・引渡開始

- “つなぐ”をテーマに、札幌都心の新たな可能性を拓く「苗穂駅」直結の大規模再開発エリアに誕生
- 札幌第1号物件『イニシアグラン札幌イースト』でコミュニティ形成をめざした地域住民参加型イベントを開催

INITIA GRAN



『イニシアグラン札幌苗穂』外観



『イニシアグラン札幌イースト』
地域住民参加型イベント「夏フェス」

■ 暮らしの変化とニーズの多様化に応えるリノベーションマンション「INITIA & Renovation」

- インナーバルコニーを設け、室内で植物の手入れや家庭菜園を楽しめる暮らしを提案
- 建具や照明に廃棄予定のコーヒー豆を染料とした素材を取り入れた『目黒不動前マンション』販売

INITIA
& Renovation



『メロディーハイム中津5番館』



『目黒不動前マンション』建具／照明

■ オーストラリア・シドニー近郊にてメジャー出資第1号プロジェクトとなる新築マンション『OTTO』竣工

- 商業施設・ビーチへのアクセスの良さと落ち着きのある街並みが人気のエリアに誕生
- 全住戸角部屋を実現し、約200㎡の専用庭を有する住戸など多様なニーズに応える住戸を提供



『OTTO』外観／室内



- **入居者同士のゆるやかなつながりを生むシェアレジデンス『nears(ニアーズ)川崎』**
 - 複数の用途に対応した共用空間と機能的な居室を備え、居場所を自由に選択できる住まいを提供
 - 職住近接を実現するレンタルオフィス『MID POINT川崎』と共同で交流イベントを開催

SHARE RESIDENCE
nears



『nears川崎』共用フロア キッチン・ダイニング／居室

- **集合住宅で初導入となる防災備蓄サービスを賃貸マンション『コスモグラシア内神田』で採用**
 - スタートアップ企業と協業し、サブスク型防災備蓄サービス「あんしんストック」を導入
 - マンション共用部に備蓄倉庫を設置し、防災機能を向上することで災害時にも安心な生活を提案

COSMOS GRACIA



「あんしんストック」イメージイラスト



『コスモグラシア内神田』外観完成予想図 30

■ アpartmentホテル「MIMARU」 旅先で“暮らすように滞在する”宿泊体験を提供

- 全室2ベッドルーム以上の「MIMARU SUITES」シリーズを東京エリアに初出店
- トリップアドバイザーが発表するランキングにて、国内トップ10に選出(※)



『MIMARU東京 上野NORTH』

『MIMARU SUITES 東京日本橋』

※2022 トラベラーズチョイス ベスト・オブ・ザ・ベスト ホテル「旅館(B&B、イン)」部門にて日本10位に選出

■ 東京・京都・大阪の「MIMARU」で多彩なコンセプトルームやサービスを展開

- 「ライフスタイル雑貨(食器・本・アート)」の貸し出しサービスで新しい宿泊体験を提供
- 家族・友人と「ボードゲーム」や「浮世絵」などを楽しめる新たなコンセプトルームを展開



『MIMARU SUITES 東京日本橋』
「ライフスタイル雑貨(食器・本・アート)」の貸し出し



『MIMARU大阪 難波STATION』
人狼など、130種類以上のボードゲームを楽しめる



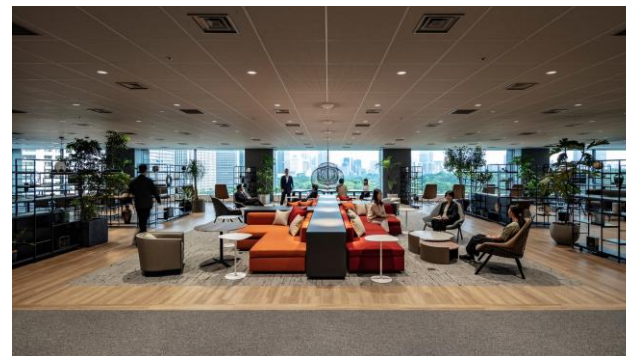
『MIMARU東京 錦糸町』
浮世絵のオマージュで東京の街並みを紹介

- 「コスモスマア」がデザイン設計・施工・プロジェクトマネジメントに携わった施設が完成・開業
 - 「MIFA Football Park 福岡」では、商業施設の屋上という立地を活かした設計により、利用者同士のコミュニケーションを促進する開放的な空間を創出



『MIFA Football Park 福岡』〈設計(一部)・施工〉

- 本社移転のプロジェクトマネジメントを担当した丸紅株式会社の新本社オフィスが、第35回日経ニューオフィス賞 <クリエイティブ・オフィス賞>を受賞



『丸紅本社 Workreation オフィス』〈プロジェクトマネジメント、造作什器 設計・施工(一部)〉

【本資料についてのご注意】

本資料は 2022年11月9日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

経済動向・事業環境などの不確定要因により、
実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

【お問い合わせ】

株式会社コスモスイニシア

経営管理本部 経営企画部門 経営企画部 （高橋 / 藤井）

MAIL : info-ir@ci.cigr.co.jp

TEL : 03-5444-3210